



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年5月15日

東

上場会社名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
 コード番号 4583 URL <http://www.chiome.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 美女平 在彦 TEL 03-6383-3746

四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の業績（平成29年1月1日～平成29年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-----|-----|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年12月期第1四半期 | 55 | 6.2 | △203 | ー | △204 | ー | △205 | ー |
| 28年12月期第1四半期 | 51 | ー | △302 | ー | △300 | ー | △301 | ー |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年12月期第1四半期 | △7.93 | ー |
| 28年12月期第1四半期 | △13.62 | ー |

(注1) 平成28年12月期第1四半期累計期間の対前年同四半期増減率については記載しておりません。これは、比較対象となる平成27年12月期第1四半期は四半期連結財務諸表を作成しており、四半期財務諸表を作成していないことによります。

(注2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年12月期第1四半期 | 4,740 | 4,557 | 95.3 |
| 28年12月期 | 4,789 | 4,565 | 94.5 |

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 4,518百万円 28年12月期 4,527百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年12月期 | ー | 0.00 | ー | 0.00 | 0.00 |
| 29年12月期 | ー | ー | ー | ー | ー |
| 29年12月期（予想） | ー | 0.00 | ー | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年12月期の業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

当社は「創薬事業」「創薬支援事業」の2つを報告セグメントとしております。創薬事業においては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であるため、当社の業績予想は創薬支援事業の数値（売上高201百万円）のみ公表しております。それに伴い、全社の業績予想についても記載しておりません。なお、直近に公表されている業績予想からの修正はありません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 29年12月期1Q | 25,953,500株 | 28年12月期 | 25,455,500株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年12月期1Q | 146株 | 28年12月期 | 146株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 29年12月期1Q | 25,858,599株 | 28年12月期1Q | 22,104,762株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社の当第1四半期累計期間におきましては、創薬パイプラインの拡充、開発及び導出活動とADLib®システムを用いた新規の抗体作製の推進、創薬支援事業等を中心に事業活動を進めてまいりました。

創薬事業においては、LIV-1205（ヒト化抗DLK-1抗体）及びLIV-2008b（ヒト化抗TROP-2抗体）の2つの抗体がADC開発用途での全世界における独占的な開発・販売権に関するオプションライセンス契約の下、スイスのADC Therapeutics社にて評価中です。また、LIV-1205は、2016年10月に米国国立がん研究所(National Cancer Institute; NCI)と締結した契約下で、小児がんに対する新薬候補の評価を目的とした組織であるPediatric Preclinical Testing Consortiumにて、動物モデルでの薬効評価を実施しております。

以上の結果、当該事業における当第1四半期累計期間の売上高は2,865千円（前年同四半期比3,070千円減少）、セグメント利益（売上総利益）は2,865千円（前年同四半期比3,070千円減少）となりました。

創薬支援事業においては、中外製薬株式会社及び同社の海外子会社であるChugai Pharmabody Research Pte. Ltd.との契約に基づく研究開発活動及び受託事業を行っております。また、田辺三菱製薬株式会社及びTanabe Research Laboratories U.S.A., Inc.との契約に基づく抗体作製プロジェクトも進めております。その他、ADLib®システムを活用した新たな受託案件及び共同研究も実施しております。

以上の結果、当該事業における当第1四半期累計期間の売上高は52,165千円（前年同四半期比6,268千円増加）、セグメント利益（売上総利益）は29,338千円（前年同四半期比14,993千円増加）となりました。

当社は平成29年1月25日、株式会社Trans Chromosomics（以下、TC社といたします）が実施する第三者割当による新株発行を引き受けました。TC社との提携により抗体開発に関する技術水準の向上を狙っており、当社の企業価値拡大に資するものと判断し、A種優先株式750株(150,000千円、所有割合6.3%)の株式を取得いたしました。TC社は、平成26年12月に押村光雄氏（鳥取大学染色体工学研究センター特任教授）によって設立されたバイオベンチャーであり、独自の染色体工学技術に基づき、汎用性の高い人工染色体ベクターを用いた創薬プラットフォーム技術を開発しております。TC社は、この技術を利用して、完全ヒト抗体産生ラット・マウスの作製や疾病の原因遺伝子の探索及び疾患モデルマウス・ラットの作製、それらを利用した創薬開発、遺伝子・細胞治療を目指した先端医療や産業化に役立つ研究開発を行っております。

当社は平成29年3月29日に経営諮問委員会を設置することを決議いたしました。同委員会から当社の経営に対する客観的評価に基づく助言、必要に応じた過去の経営計画や経営判断の検証・評価を受けることといたしました。

各セグメント事業の基盤となる技術プラットフォームの研究開発活動につきましては、ADLib®技術の開発とともに、アンメットメディカルニーズが存在するターゲットに対する抗体の研究開発を継続しております。

以上の研究開発活動の結果、当第1四半期累計期間における研究開発費は100,539千円となりました。なお、当社は創薬基盤技術であるADLib®システムを核として事業を展開しており、全ての保有資産が一体となってキャッシュ・フローを生成していることから、研究開発費を各報告セグメントへ配分しておりません。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は55,031千円（前年同四半期比3,198千円増加）、営業損失は203,838千円（前年同四半期は302,385千円の営業損失）、経常損失は204,564千円（前年同四半期は300,643千円の経常損失）、四半期純損失は205,169千円（前年同四半期は301,037千円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は4,485,265千円となり、前事業年度末と比較して196,252千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金やたな卸資産が減少したことによります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は254,816千円となり、前事業年度末と比較して147,180千円増加いたしました。これは主に、TC社への出資による投資有価証券の増加によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は131,589千円となり、前事業年度末と比較して37,499千円減少いたしました。これは主に、返済による1年内返済予定の長期借入金の減少、支払いによる未払費用の減少や賞与支給による賞与引当金の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は4,557,533千円となり、前事業年度末と比較して7,544千円減少いたしました。これは主に、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少や新株予約権の権利行使による資本金及び資本剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月14日に発表いたしました平成29年12月期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成28年12月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成29年3月31日) |
|---------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,553,178 | 4,359,805 |
| 売掛金 | 46,950 | 42,703 |
| たな卸資産 | 35,475 | 30,642 |
| 未収消費税等 | 31,926 | 39,550 |
| その他 | 13,986 | 12,563 |
| 流動資産合計 | 4,681,517 | 4,485,265 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 機械及び装置 | 459,689 | 459,689 |
| 減価償却累計額 | △437,473 | △438,872 |
| 機械及び装置（純額） | 22,216 | 20,817 |
| 工具、器具及び備品 | 118,453 | 118,453 |
| 減価償却累計額 | △105,353 | △106,665 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 13,100 | 11,787 |
| 有形固定資産合計 | 35,316 | 32,605 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | — | 150,000 |
| 敷金及び保証金 | 71,995 | 71,995 |
| その他 | 324 | 216 |
| 投資その他の資産合計 | 72,319 | 222,211 |
| 固定資産合計 | 107,635 | 254,816 |
| 資産合計 | 4,789,153 | 4,740,081 |

(単位:千円)

| | 前事業年度 (平成28年12月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成29年3月31日) |
|---------------|------------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 22,565 | 19,723 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 50,004 | 37,495 |
| 未払金 | 34,705 | 34,916 |
| 未払費用 | 20,546 | 12,876 |
| 未払法人税等 | 20,702 | 14,800 |
| 預り金 | 5,815 | 7,000 |
| 前受収益 | 2,815 | - |
| 賞与引当金 | 11,932 | 4,777 |
| 流動負債合計 | 169,088 | 131,589 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,159 | - |
| 資産除去債務 | 50,827 | 50,958 |
| 固定負債合計 | 54,986 | 50,958 |
| 負債合計 | 224,075 | 182,547 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,186,379 | 5,284,472 |
| 資本剰余金 | 5,176,379 | 5,274,472 |
| 利益剰余金 | △5,834,757 | △6,039,927 |
| 自己株式 | △292 | △292 |
| 株主資本合計 | 4,527,709 | 4,518,725 |
| 新株予約権 | 37,368 | 38,808 |
| 純資産合計 | 4,565,078 | 4,557,533 |
| 負債純資産合計 | 4,789,153 | 4,740,081 |

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

| | 前第1四半期累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日) | 当第1四半期累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 51,832 | 55,031 |
| 売上原価 | 31,551 | 22,826 |
| 売上総利益 | 20,281 | 32,204 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 研究開発費 | 175,916 | 100,539 |
| その他 | 146,750 | 135,503 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 322,667 | 236,042 |
| 営業損失（△） | △302,385 | △203,838 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 132 | 19 |
| 有価証券利息 | 1,350 | — |
| その他 | 583 | 67 |
| 営業外収益合計 | 2,067 | 87 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 159 | 97 |
| 株式交付費 | 125 | 716 |
| その他 | 40 | — |
| 営業外費用合計 | 325 | 814 |
| 経常損失（△） | △300,643 | △204,564 |
| 税引前四半期純損失（△） | △300,643 | △204,564 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,252 | 605 |
| 法人税等調整額 | △858 | — |
| 法人税等合計 | 393 | 605 |
| 四半期純損失（△） | △301,037 | △205,169 |

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。